



目指す学校像

安行小だより

安行小学校 6月号

令和5年6月1日

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校（個の伸長 公の育成）

～伝統と地域と共に励みて進む安行小150年～

目を見てあいさつ 笑顔あふれる安行小

～150周年のパワーでがんばろう！～

校長 春川 嘉孝

表題は、令和5年度安行小児童会のスローガンです。先月の16日に、児童会役員の児童が全校に向けて発表、紹介をしました。「あいさつ」は、家族、友達、職員や地域の方に、「今日も頑張ります」「今日もよろしくお願いします」「今日もありがとうございました」という気持ちを表す言葉です。自分から進んで、目を見て、明るく、しっかりとあいさつする児童の姿をみると、自分自身も、明るい気持ちになります。「あいさつ」には人と人とのコミュニケーションを豊かにし、よりよい関係を築く力があるように感じます。そして、児童会では「安行小150年」をしっかり意識して、これまで積み重ねてきた力を思う存分発揮して「やる気と笑顔あふれる学校にしよう」という強い決意を感じます。安行小学校の歴史や伝統、環境を子供たち自身が調べ、考えることで、また安行小を好きになってくれると確信します。保護者、地域の皆様もぜひ「150年の一年間」を実りある一年間となるようご協力をお願いいたします。

6月は「田に水を引く月」。「芒種：穀物の種をまく時期」。子供たちの思いや力を存分に生かし「実り」に向かって、取り組んでまいります。新たな学校ファームとして安行地区で唯一残っている「田」をお借りすることができました。5日（月）に中学生、幼稚園児と共に「彩のかがやき」という品種の苗を植えます。実りに向かっての準備を始めます。

「笑顔で 元気で あきらめない運動会」

先月の27日（土）は「開校150周年運動会」へのご参観、誠にありがとうございました。天気にも恵まれ、半日での開催となりましたが、どの学年のどのお子さんも、練習の成果を発揮しながら、精一杯の競技、演技だったと思います。「ポストコロナ」少しずつ、心も体も準備を整えながら、学校生活を豊かにする体験を積み重ねてまいりたいと存じます。運動会実施にあたり、保護者、地域の皆様、おやじの会、協力員の皆様のおかげをもちまして盛大に実施することができました。ありがとうございました。

お子さんにとって、入学、進級からの2か月間。ゴールデンウィークという連休もありましたが、これからの梅雨の時期、寒暖差など、心身ともに疲労が現れると思います。6月は暦の上では、実りの準備を始める時期ですが「いじめ問題」が発生しやすい時期でもあります。お互いのよさを認め合い、違いを知り、共に成長していく気持ちを学校でも醸成いたしますが、ご家庭でも、お子さんの様子をみていただき、心配事があればいつでもご相談ください。一人一人が大切にされ、自分の命を大切に生活できることは、誰もが持っている権利です。お子さんが自分も友達も大切にしながら、運動会という大きな行事を経験して得られた豊かな心をもって生活できるよう支援してまいります。家庭、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

6月は「水無月」。水の月（「無」は「の」を意味する）で、田に水を引く月の意と言われる。（国立国会図書館より）その他に「6月」を表す異名として「水張月」「常夏月」「涼暮月」などがあるそうです。（ウェザーニュースより）これは、旧暦でつけられていますが、皆さんにとっての「6月」は「何月（〇〇月）」となるでしょうか。ぜひ、ご家庭でも季節を感じながら、話題にしていいただければと思います。

